

(第3回)これからの大和町議会のあり方ゼミナール発表 まとめ

日 時:令和3年12月18日(土)午後2時～

参加者:研究員22名

前回12月5日のゼミナールでは、理想の議員像の共通認識を持ちました。

理想の議員になるための課題を抽出するため、「議員になる前」と「議員になった後」に課題となる事をグループワークで考えました。

課題は、自分事として自分が議員になることを想像して意見を出し、グループ内で意見を出し合ったものから、集約をして重要度の高いものを発表しました。

グループ発表の内容をファシリテーターがまとめ、ゼミナールで考える課題としました。

枠内は付箋紙に書かれた意見

A グループ

◎議員になる前

課題1:家族の理解と協力が必要

また、子育てや子供にも影響がある

家族と分かれてひとり身になる議員もいるとのこと

家族の協力

子育てについて

家族の自由を奪うことになる

ひとり身になること

課題2:仕事への不安

務めている会社の理解、今の職業を手放して議員になる事への不安

会社の理解

今の仕事を手放す不安

課題3:人間性

コミュニケーションをきちんと取る。知識や経験をしっかりと蓄えておく

周りからの信頼や協力が得られるか

コミュニケーションをきちんと取ること

知識と経験

人からの信頼が必要では?!

協力してくれる方がどれだけいるか

◎議員になった後

課題1:家族の理解と協力

なる前となった後でも同じ課題が出てくる
理解してくれた家族を大切にする 家庭をかえりみる。

家族の理解
理解してくれた家族を大切にする
家族を犠牲にしない
家族をかえりみる時を大切にする

課題2:生活の変化

つつましい生活を送る
不規則な生活になる
ストレス
人付き合いが変わってしまうこと

町民と議会の板挟みになるストレス
人付き合いが変わってしまう
つつましい生活を送るべし
自分の時間は町民のための時間と心得るべし
不規則な生活になる

課題3:議員としての行動・意識

意見を聞くことができるか
支援してくれた人を裏切らないか
何を思いどこを見るのか
大事なことは、有言実行することや自覚をどれだけ持って行動するか

有言実行
自覚をどれだけ持って行動するか
支持してくれた人を裏切らない
意見をちゃんと聞くことができるか
他の議員との交流
町民とのコミュニケーション
何を思いどこを見るのか

B グループ

◎議員になる前

課題1:目標と知識

議員としての目標を立てる

議員としての知識不足

議員としての目標を立てる

“住みよい街”像の青写真があるか？

地域についての知識不足

資格が必要か分からない

町づくりについて法的な知識などあるか？

議員になって終わりではダメ

課題2:家族職場の理解

家族からの理解が必要

家族や職場の理解が必要

家族の理解を得る

家族の理解を得られるか？

課題3:資金(収支)の問題

報酬が低い

選挙に費用がかかりすぎる

報酬が低い

収入が安定するのか不安

選挙に費用が掛かりすぎる

生活設計を立てる

選挙資金があるか？

お金がかかるのでは？

課題4:選挙準備

支持者を集めることが大変

支持者、地域代表としての問題

支持者を集めることが大変

選挙の準備が大変

支持者 地域の代表として

宗教・党派・親戚

勉強・研究のための時間や費用がとれるか

課題5:時間

他の仕事を辞めなくてはならない
時間の制約がない 会社とは違う

家事との両立ができるか？
今の仕事を辞めなくてはならないかも
時間の制約がない？会社員とは違う
自営業だと立候補できるが

◎議員になった後

課題1:自覚・能力向上

行動に責任を持つ
どのようにして学んでいくか
討論力が必要

行動に責任を持つ
町のために貢献できるのか
議員としての目標を見失わずにできるか
専門性をどう学べるか？(知識武装)
討論力

課題2:実行力・発信力

町民や支持者の意見を聞く必要
研究勉強が必要

「町」のこと“こまかい”かゆいところ
に手が届く政策、発言
町民、支援者の意見を聞く
町のことを良くできるか
発言力 発信力

掛かる費用がどのようなものか
様々な要望課題の優先順位が難しい
身近な人や町民に意見を聞く
自分の活動を町民へ知らせる報告
町民の要望を意見 聞く質問する

課題3:時間

時間の制約、制度がどういったものが有るか
有給、育休、産休が大事になる

人勸的制約が多い
休みが取れる制度があるか有給や育児休暇等
おつきあいなど議会以外の時間が取られる
時間的割り振り(配分)

○その他

行政の内部の事情に配慮しては甘くならないか
議会での自己の確立をどうしていくか

行政の内部事情に配慮して「甘く」になってしまうかも
議会での自己の確立(組織での仲間づくり)
副業あるいは本業が必要になるのでは

C グループ

◎議員になる前

課題1: 家族や地域の理解が得られているかが問題

家族、地域の協力が無いとできない。

立候補する年代

子どもが居るか、夫婦どちらが立候補するのか

色々な面で理解が得られるかが問題

家族の同意

地域の賛同

家族の理解

家庭の中での立ち位置を考える

家庭のあり方

課題2: 自分の能力でやっていけるかが不安

自分に自信があって立候補できればいいが、不安になることもある。

自分の能力のあり方

自分の決意

自分の能力があるの？

課題3: 変化が怖くて議員ができない

選挙に立候補して必ず当選するわけではない。

立候補するまでの準備として、仕事の理解。兼務とかが認められるか。

人間関係の変化

批判を受けやすくなるのでは？

生活の変化

公と私の区別が難しい

環境の変化

仕事と議員の両立への不安

異空間での不安

自身の環境を変えるのは大変

現在の仕事が大事

不安

地域生活の中での信頼度

友人関係の変化に不安

周りの人への関わり

生活の変化

課題4: お金の問題

議員業だけで生活していくとなると、今の生活・環境の変化が出てくる。

サラリーマンだったら今よりも給料が少なくなる。福利厚生が悪い。

よって簡単に立候補はできない。

行動が制限される

仕事を辞めるとなると報酬が少ない

福利厚生の程度

一般企業で受けられる制度はどうなるのか

◎議員になった後

課題1:周囲の理解が得られているか

立候補のときに周囲から理解が得られていても、継続して理解が得られるか不安

家族や職場の人の理解を得られる仕組み
周囲からの期待・視線
批判を受けない仕組み
環境への対応
生活環境を守る仕組み
各制度を受けられる仕組み

課題2:議員としての責任を果たせているか

責任というワードがグループから多く出た
責任というのが議員に要求される

不平等、数の原理
調査研究の重要性
各、団体、法人の役職との両立
議員としての行動の重要性
首長との対立関係の重要性
町民との対話
政策立案
議員間の積極的な意見交換

議論の重要性
専門性を追求できる環境
やるき
責任・重圧
責任の重さ
自分の意見を他の意見と上手に整理できるか？
能力不足を補うには？

課題3:公私の区別を付けられるかが問題

議員は忙しい、プライベートが取れないのでは。
ストレスが溜まるのでは。

ストレスの発散場所は
プライベートな時間の確保
完全プライベートの確保

課題4:お金の問題

議員の報酬が少なく、議員業だけで生活するのはキツイ

報酬額 UP
資金不足

D グループ

◎議員になる前

課題1:そもそも本人に意欲・能力が無いとできない

本人にやる気が無ければ議員はできない。

本人にやる気がある
自分の知識があるのかどうか？
いろいろと経験のある人
人柄が良い

課題2:お金と時間が無いとできない

選挙資金が必要
家族を守れるか
今の仕事を辞めてまで生活を続けられるか
若い人からはキャリアとの兼ね合いの意見有り
議員活動のための時間をどこでつくるか

選挙資金が必要
議員報酬以外からの収入を得る
貯蓄がある
今の仕事を辞めるべきかどうか 両立できるか 生活できるか
若い人 キャリアとの兼ね合い
議員活動のための時間

課題3:家族の理解が無いとできない

子どもをどうしたらいいか
家事との両立

家族の理解がある
子育てをしている人 子どもをあずかってもらう
家事との両立

課題4:多くの支援者がいないとできない

地域で信頼されていないと無理
支援者を増やすために知り合いを増やさないといけない
少ない支援者では、議員にはなれないのではないか

地域で信頼されている
知り合いを増やす

◎議員になった後

前段の問題をクリアしていく事が必要
「継続」をテーマに考えている

課題1:継続して学びレベルアップしなければならない!

広い知識を得る
情報収集として先進地視察
健康な体がないと活動できない

広い知識を得る
情報の収集
世の中の流れをつかむ
地域住民の問題、課題を知る
先(未来)を読む力
健康に気を付ける
モチベーションが続くか

課題2:地域と交流し信頼を得なければならない!(成果・報告)

活動を報告し、報告することで問題も提起される。
支援者の中で話をして親しみやすい行動が必要
地道に活動内容の報告が必要なのは

支援者だけではなく全町民と親しみやす
さのための行動をする
地域での催し物に参加
議員として見られるのを常に意識する
活動内容の報告会を開催する
町民の悩みを行政に届ける

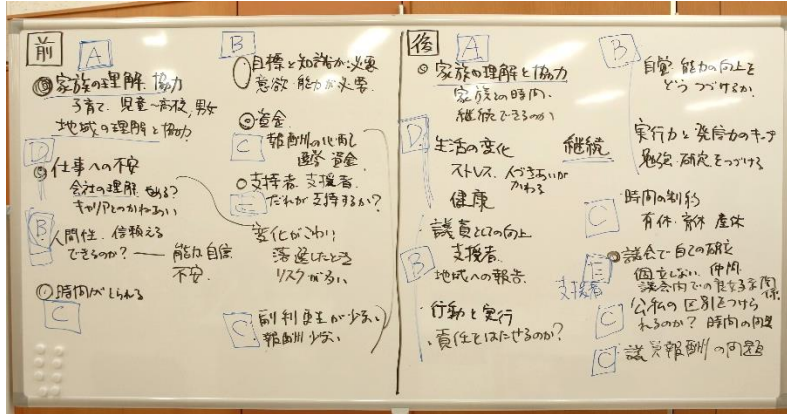
課題3:議会内・行政とも良好な関係を築かなければならない!

関係が良いと情報がもらえたり、本音で話をしてもらえたりする
本当の意見を正直に言えるか
ジェンダーフリーの目線や意見、気づきが聞けるように信頼関係を作っておく

町との良好な関係
本当の意見を正直に言えるか
女性での目線での気づき力
自分に否定的な意見を認められるか
誰かの言いなりにならないか

課題のまとめ

ファシリテーター：宮城大学 平岡善浩 教授
各グループから出された課題をまとめました。



課題 A は、その他の総合した課題になるので課題 B～E でも考えることとしました。
今後のゼミナールでは、B～E の課題ごとにグループ分けを行い、研究を進めます。

課題区分	議員になる前の課題	議員になった後の課題
A 家族、地域、会社 の理解・協力	家族の理解 地域、会社の理解、環境 どう理解・協力をもらうか	継続 家族の理解・協力
B 自己の意欲や知識、能力	本人の考え、資質、能力が必要 人間性が必要 信頼を得られるか不安 能力、自信に不安	議員としての向上 支援者や地域への対応 行動力、実行力 責任を果たせるのか 自覚、能力の向上をどう続けるか 実行力と発信力のキープ 勉強・研究をどう続けるか
C 時間とお金	副業としていけるか 選挙資金、時間が取られる 福利厚生が少ない 報酬が少ない	時間の制約 有給・育休・産休 公私の区別が付けられるか 議員報酬の問題
D 生活や仕事の変化	仕事への不安 仕事を辞めること 変化がこわい 落選したとき リスクが多い	生活の変化 ストレス 人付き合いの変化 健康への配慮が必要
E 支援者や議会内での関係	支持者、支援者と良好な関係 をつくれるのか	議会内での自己の確立 議会内での良好な関係

河村先生から講評

今日、みなさんから出た話は、私が総務省の「地方議会・議員のあり方に関する研究会」での会議の中身とあまり変わらない。みんな抱えている話である。

議員だと台風が発生したとき、夜中にハツとして起きるなど、24 時間 365 日、議員であり続けたいといけない。

「議員として見られている」という意識があり、なにかあると、すぐ役得だと言われ、プレッシャーのかかる仕事をしている。

みなさんの話を聞いていて身近なところを突いていたと思った。

最初から政党や団体がサポートしてくれる国会議員と町村の地方議員が違うことに気づきましたか？

国会議員だと助けてくれるし、選挙のときも後援会が助けてくれる。時間とお金も政党でサポートしてくれる。国会議員は休んでも、他に休む国会議員はいくらでもいる。

地方議員は、自分の力で何とかしないとイケない。

政党中心の国会議員と違うことに気づいてもらいたい。

それが、議員のなり手がなかなかいない原因なのかなと見えてくる。

地方議員は地方自治なので、自分たちで良くする心意気に依存しないとイケなく、24 時間 365 日、公私の区別無く、時間的拘束される。

法律上で議員は職業ではなく、職を辞めて無職になって議員にならないといけないが、今の時代に本当にいいのかという問題がある。

昔は、9 割農家だった時代があった。生まれたときから農家で、地域の人も農家。考えていることも同じで、議員活動するには不都合が無かった。

しかし、今は働くところ、会社も違う、通勤も町外にしているなど多様になっていて、地域の声だけを拾うわけにはいかないなど、昔よりも議員の仕事は増えている。

それゆえに、仕事に不安に思う人たちもいる。

課題 A の話は、課題 B の話が一番連動している。

課題 D の話で考えづらいときは、課題 A の話も考えてみるのが良いのかと思う。

こういう機会話をしてみると、「議員のイメージが思っていたのとズレてきた」と思う人がいると思う。

ズレの気付きは、普段生活している人たちには伝わらないことなので、この後、考えるときに周りの人と話をしてみたい。

正月休みに親戚にどう思うか聞いてもらおうと、次の会議のときに話が出来ると思う。

親戚に議員がいる人は、聞いてみるとプラスになると思う。

議員自身がどう思っているかは、議員に聞くのが早いですが、NHK スペシャル取材班で議員にアンケートしていて、「地方議員は必要か」という書籍も出ている。時間があって情報集めたい方は読んでもらえればと思う。